吉野昌甫名誉教授著作目錄

翀

郑 行 所	全国地方銀行協会	全国地方銀行協会	全国地方銀行協会	日本経済評論社	日本経済評論社	全国地方銀行協会	有斐閣	日本経済評論社	有斐閣	有斐閣)経済法令研究会	全国信用企庫協会	日本経済新聞社
著・共著・編著等の別							編著(滝沢健三氏と共編)		編著(藤田正寛氏と共編)		共著(久水宏之・及能正男氏と)経済法令研究会		
	絅	辨	辨	共港	辨	辨	麵場	辨	鰌	離婚	共光	大著	₩
夲				(全国信用金庫協会編)									
#J				公融』	金瓜』			=					- 3
- 神	『中小令兼令顧器』			, L		「地方銀行論』	[外国為替入[]]	『低成長経済と中小企業金融』				『外国為替』	『信用金庫』(日経遊業シリーズ)
iiT	, oc	;	, III	4 H	9 月	2 H	3 A	2 H	54年9月	三 三 6	е д	8 月	8 Д
発行年月		42 年 日	44年8月	48年4月	48年9月	50年2月	53年3月	54年2月	54年	58年9月	60年6月	62年8月	平成 1 年 8 月
X I	八里						*			*	"	"	平成

共同研究者名

発行機関 一個大学

発表雑誌等の名称

×

耀 始

孙绝

「利子論についての党書―ハロッド『助学』をめぐって」『一橋論哉』

X

統

発表年月 昭和 27 年 2 月

	発表年月	孙	卷	纒	×	绐	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
昭	昭和28年2月	「B. ハンカンのインフレボャップ階と J. S.	10117	アギャップ語		ミルの『第			
		四命題』					『季刊理論経済学』	日本理論経済学会	
*	29年3月	「流動性選好概念の若干の展開」	概念の若干	の展開」			『政経学会雑誌』	炎城大 学	
*	29年3月	「加速度原理について」	について」				『文理学部紀要』	茨城大学	
*	29年6月	「質銀水準と貿易収支」	貿易収支」				『金融経済』	金融経済研究所	
*	30年3月	「製造品価格と原料品価格の関係について」	と原料品価	格の関係に	したいて		『文理学部紀要』	茨城大学	
*	30年7月	「国際均衡化機構とケインズ」	機構とケイ	゛゛゛			小泉明編『近代経済		
							学の革新』	河出審房	
*	31年3月	「活動残高と不活動残高の関係」	不活動残高	の関係」			『文理学部紀要』	茨城大学	
*	31年6月	「『ファイナンス』 について」	ィス』につい	ر اح			『金融経済』	金融経済研究所	
	34年10月	「財貨本位と労働本位」	労働本位」				『経済研究』	一桶大学経済研究所	
*	35年3月	「中小企業向け貸出動向」	计货出助向	_			『中小企業研究資料		
							『(9)	統計研究会	
*	36年4月	「中小企業融資と景気循環」	符と景気循	型			中山伊知郎編『資本		
							蓄積と金融構造』	東洋経济新報社	
*	36年10月	「国際通貨制度」	梵」				『経済セミナー』	日本評論社	
#	36年11月	「長期運転資金借入金についての研究・その2」	金借入金に	してトの原	光・その2」		「調査時報』	中小企業金融公庫	
*	37年6月	「金融引き締め政策とその効果」	め 政策とそ	の効果」			『税経セミナー』	税務経理協会	
*	37年7月	「中小企業金融公庫の在り方」	軸公庫の在	り方」			調査時報』	中小企業金融公庫	
*	37年8月	「ケインズとトリフィンにおける金管理問題」	トリフィン	における金乳	筝理問題」		了一橋韷裘』	橋大学	
*	37年11月	「金融構造の変化と中小企業金融」	変化と中小	企業金融」			『一橋論叢』	一橋大学	
	38年4月	「第一次大戦後の金為替本位制の崩壊と問題点」	炎の金為替	本位制の崩れ	蔑と問題点」		[ハンキング]	産業経済社	
*	39年5月2	26 日 'Capital	transactic	'Capital transactions and Financial Market'	ancial Ma		"Asahi Evening	朝日イブニング・ニ	ń
						_	News"	ース社	
*	39年6月	「開放経済における景気調整策のあり方」	おける景気	調整策のあ	り方」	_	『相互銀行』	全国相互级行協会	
*	39年11月	「国際流動性とキー・カレンシー」	トキー・カ	アゲーブ			[一橋論叢』	一桶大学	

共同研究者名																					
発行機囚 統計研究会	統計研究会		有斐閣	一桶大学	産業経済社		有斐閣	中小企業金融公庫	商工組合中央金庫	一栖大学		青林書院新社	産業経済社	産業経済社			統計研究会	1 T Lift 公会 会公 D 2 70、474	果件維的新報程 日本製勢基	14年間 調在中小企業金融公正	
発表雑誌等の名称 統計研究会編『第3 次産業の長期展望』	[国際経済研究資料 [23]	川口弘・川合一郎編 『国際金融 と 国際 通	貨機構』	[一桶論叢』	「バンキング』	深見義一編『国際マ	ーケティング』	『調査時報』	『南二金融』	[一橋論叢』	小泉明·相原光編	『国際経済論講義』	『パンキング』	『ハンキング』	[経済企画庁, 昭和43 (11)	华 度 委託調 蚕 報 告		小泉明·長澤惟恭編 2人群於二井十四四百	『 公刚調の去不同處』果洋種的初級在 『 双 汝懿聽』	「結本件事」	,
学 術 論 文 名 「民間金融機関の業態別貸出における商業の地位」	「国際資本移動と国際流動性」	「国際資本移勖」	「国際流動性と国際資本移動―キー・カレンシー方式 に	ついてのノート」	「キー・カレンシー方式と国際資本移動」	「貿易金融」		「企業規模別の金融・財務構造の推移」	「中小金融制度再編成の方向と問題点について」	「変動為替和場制についての問題点について」	「国際経済論の対象」		「変動為替相場制についての問題点(IV)・上」	「変動為替和場制についての問題点 (IV)・下」	44年3月、「為替相場制度と物価問題」			「国際資本移動」	「今期後對心,今期代內一	、近隔沙平口と延縮などで 「今陣機関の競争と金融の効率化」	The state of the s
発表年月 昭和140年3月	40年3月	40年5月	40年8月		40年8月	42年4月		42年4月	42年8月	42年11月	43年5月		43年10月	43年11月	44年3月,			44年5月	11 1 TE 7 H		
昭和	*	*	*		*	*		*	*	*	*		*	"	*			*	*	*	

共同研究者名	,	邻		t m	,, dit
郊行機 関 F	統計研究会		税計析究会 中小企業金融公庫 一橋大学	中小企業金融公正 一糖大学 一糖大学 一糖大学 全糖ブ・ナーナル社	全国地方銀行協会 一橋大學 一橋大學 黎明会 東洋統济新賴社
発表維誌等の名称 『国際経済研究 資料	(39)] 全国銀行協会連合会・貯蓄増強中央委員会編『現代の貯蓄	理論』 『国際経済研究資料 ®』	(39] 『調査時報』 『一極論叢』 『中小企業金融公庫	月報』 『一橋論叢』 『一橋論叢』 『一橋論叢』 『金融ジャーナル』 全国地方銀行協会編 『国際通貨問題の研	次』 『一橋論護』 『心陽論護』 『一橋論護』 『一橋論護』 『一橋論護』 『黎明護書 113 号』 第 62 一 52 63 63 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64 64
允] 吳連中小企	その2)」 その3)」 問題」 修問題」	
×		調整問題」	「中小企業と物価上昇問題についての一考察」 「国際金融仲介業務とキー・カレンシー制」 「ニクソン・ショックをめぐる問題点と貿易関連中小企	業」 「国際金融仲介業務とキー・カレンシー制(その2)」 「国際金融仲介業務とキー・カレンシー制(その3)」 「国際通貨制度と黒字国および赤字国の調整問題」 「円の対外価値をどう考えるか」 「地域間収支差額と国際収支差額不均衡の調整問題」	た」 ・ダラー」
いる。	意義」	「固定レート下の国際収支黒字調整問題	昇問題につ たキー・カ クをめぐる	業] 国際金融仲介業務とキー・カリ 国際通貨制度と黒字国およびデ 円の対外価値をどう考えるか」 地域間収支差額と国際収支差額	「ドル本位と国際通貨制度」 「国際通貨改革の方向と円の地位」 「ドル本位制と調整問題」 「預金利率決定に関する一考察」 「アメリカの金融政策とユーロ・ダラ 「金本位制の経験とその評価」
学術 「国際緊密度について」	「貨幣的貯蓄形態の意義	下・下の国	と業と物価上 2融仲介業数 ハン・ツョッ	2融仲介業務2融仲介業務1貨制度と黒1が価値をど3収支差額と	「ドル本位と国際通貨制度」 「国際通貨改革の方向と円の地(「ドル本位制と調整問題」 「預金利率決定に関する一考察」 「アメリカの金融政策とユーロ 「金本位制の経験とその評価」
學 月 「国際類			L. L.	10A L L L L L	
発表年月 昭和 45 年 3 月	"45年4月	"46年5月	"46年5月 "46年9月 "46年9月	7 47年1月 7 47年7月 7 47年9月 7 47年10月 7 48年6月	48年7月 48年9月 48年10月 49年10月 49年10月

	発表在月	逆		₽	Á	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
	1 1 1 1				I		14.5.4. 外插个	
昭利	昭和 49年 12月	「金融の国際化と円の地位」	円の地位」			『街蚤ジャーナグ』	斜室 シャー ト 子 角	
*	50年6月	「ユーロ・ダラー	ロ・ダラー制度とドル本位制。	_		『ゲジネス・レビュ		
						"	一橋大学	
*	50年6月	「ユーロ・ダラー	「ユーロ・ダラー制度についての一考察」	郑 黎」		『一橋論叢』	一桶大学	
"	50年9月	「開放体系・封鎖・	「閉放体系・封鎖体系、国際収支・国際貨借、国際資本移	国際貨借, 国	際資本移	高橋泰蔵・増田四郎		
		助, 貿易依存度,	動,貿易依存度,輸入需要の所得・価格弾力性,国際収	価格彈力性	,国際収	編『体系経済学辞典		
		支調整機構,国際	支調整機構,国際価値論・相互需要説,交易条件,順貿	妈说,交易条	件,順質	(改訂版)』	東洋経済新報社	
		易偏向的成長・逆	易偏向的成長・逆貿易偏向的成長,ドル問題,ダンピン	ドル問題,	ダンドン			
		7,7						
"	50年9月	「預金者からの銀行儲け過ぎ論」	行儲け過ぎ論」			[金融界]		
"	50年11月	「ユーロ・ダラー」	ロ・ダラー市場取引きと『トランスファー』問題」	ランスファー	-』問題1	『山口茂先生追悼記		
						念集』	東洋経済新報社	
*	51年4月	「国際収支の調整」	ſ			小泉明·相原光編		
						「新訂国際経済論講		
						我』	青林皆院新社	
*	51年11月	「業態別金融機関	「業態別金融機関の自社経営上の重要事項について」	要事項につい	1,4,1	『相互銀行』	全国相互銀行協会	
	51年11月	「国際収支調整とドル本位」	ドル本位」			『一橋論叢』	一橋大学	
*	52年2月	「業態別金融機関	-薬態別金融機関の総利削に関する見通しと総利翰維持	見通しと総科	可鞘維持			
		拡大楽の関係について」	「ユいて			『相互銀行』	全国相工銀行協会	
	52年6月	「業態別金融機関	- 業態別金融機関の中小企業向け賃出しに際しての重視	五つに添り	この重視			
		項目の推移について」	177			『相互銀行』	全国相互銀行協会	
"	52年8.9月		「政府系中小専門金融機関の貸出し分野についてのあり	分野にしい	このあり	『中小企業金融公庫		
		方に対する民間金融機関の評価」	を融機関の評価」			月報』	中小企業金融公庫	
*	52年10月	「政府系中小專門	「政府系中小専門金融機関の貸出し分野に対して民間金	分野に対して	て民間金	『中小企業金融公庫		
		融機因が期待するあり方。	5あり方」			月報』	中小企業金融公庫	
"	52年11月	「銀行経営の現況と今後の展望	と今後の展望」			[金融総合年鑑・		

因 共同研究者名			世ぐ極	-t-(t	全国相互銀行協会 山田良治氏	会連合会	1		行路会	经			行協会	增研究会		ス社				融公庫	会連合会		ス社		強公庫
発行機関	近代セールス社		中小令戦各歸今世		全国相互銀	全国銀行協会連合会			全国相互銀行協会	簡保管令研究会	一権大学	; }	全国相互銀行協会	金融財政事情研究会		近代セールス社		春秋社		中小企業金融公庫	全国銀行協会連合会		近代セールス社		中小企業金融公庫
発表権誌等の名称	1978』	『中小企業金融公庫	月報』	『金融制度研究会に	対する報告』	「金融」			『相互銀行』	「かんぽ筲金」	[一格論叢』		『相互銀行』	『金融財政事情』	[金融総合年鑑・	1979 』	小泉明·花輪傚哉編	「金融概論』	『中小企業金融公庫	月報』	「金融」	「金融総合年鑑・	₽0861	『中小企業金融公庫	月報』
和	「政府系中小専門金融機関の金融緩慢時の役割のあり方	に関する重要事項および政府系中小専門金融機関の利					「中小企業との取引に際して業態別金融機関にとっての	他金融機関との関係における金利以外の要因の重要性		Ĭ,		『従来』および『今後』における業態別金融機関による	類」	53年10月16日「中小金融機関における『守り』と『攻め』の経営」					「企業規模別にみた設備投資と長期金融機関借入れ金を		いぐって」			推移」	
×	触綴悔時の	中小専門金		「ひいて」		_	螚別金融機	利以外の要		「景気回復のための金融的対策とその問題点」		る業態別金	中小企業向け貸出しに伴うリスクへの対応筑」	FOI E FE			目場の理論」		長期金融機関		「効率性と公共性・社会的公正との調和をめぐって」			「企業規模別での法人企業の短期金融状態の推移」	
繮	融機関の金属	まび政府来	7	「相互銀行の今後の発展方向について」		「低成長経済と金融機関の課題」	に際した業績	るにおける金	IEついて」	金融的対策。	ドル本位」	・後』 におけ	バに伴うリス	における 匠			「固定為替相場と自由変動為替相場の理論」		設備投資 と長		社会的公正 2	「低成長経済と金融構造の変化」		人企業の短期	
卷	中小専門金	5重要事項非	用状況などについて、	行の今後の		経済と金融	業との取引	戦関との関係	およびその重視項目について」	彼のための	「ユーロ・ダラーとドル本位」	および 16年	覧向け貸出し	小金融機関。	「金融構造の変化」		替相場と自日		模別にみた 語]題点」	と公共性・ネ	経済と金融体		度別での法/	
沙		に関する	用状況力	「相互銀		「低成長	「中小企	他金融梯	およびそ	「景気回	エュロ	『從来』	中小企業	16日「中	「金融構」		「固定為		「企業規	めぐる問題点	「効率性	「低成長		「企業規	
発表年月	昭和 52 年 11 月			"52年12月		"53年1月	"53年4月			"53年5月	"53年5月	"53年9月		"53年10月	"53年11月		"54年2月		"54年5月		7 54年8月	7 54年11月		"55年3月	
	图			•		-	•			7	*	~		~	~		~	•	•		•	~		•	

発表年月 学 術 論 文 名 昭和55年 4 月 「キー・カレンシーとしてのドルと外国為替相場の諸問	学 術 論 文 名 「キー・カレンシーとしてのドルと外国為替相揚の諸問	術 論 文 名 ハンシーとしてのドルと外国為替相場の諸問	論文名 、てのドルと外国為替相場の諸問	文 名 外国為替相場の諸問	名 相場の諸問		発表雑誌等の名称 荒巌治郎他 4 名編	発行機関	共同研究者名
ς					} [,	『戦後経済政策論の	旧舟封	
							争点』	勁草書房	
55年 6 月 「キー・カレンシー制度と収支調整」	「キー・カレンシー制度と収支調整」	ノンシー制度と収支調整」	ぎと収支調整」	-			『ドジネス・アゲュ		
								一个个小	
56年 5 月 「預貯金金利決定の一元化と金利の自由化」	「預貯金金利決定の一元化と金利の自由化」	決定の一元化と金利の自由化」	さ化と金利の自由化」	自由化」			『相五銀行』	全国相互級行協会	
56 年 11 月 「郵貯懇答申の論点」	「郵防器答申の論点」	日の割点」					『ジュリスト』	有斐閣	
57年7月 「中小企業における長期資金調達の在り方に関する調査」	「中小企業における長期資金調達の在り方に関する	こおける長期資金調達の在り方に関する	資金調達の在り方に関する	在り方に関する	親する	调益」	『相五銀行』	全国相互銀行協会	
57 年 9 月 「回答中小企業の従業員規模別構成比を中心としたアン	「回答中小企業の従業員規模別構成比を中心と した	と業の従業員規模別構成比を中心と した	貴規模別構成比を中心とした	比を中心とした	とした	Y			
ケート調査結果のまとめ」	ケート調査結果のまとめ」	給果のまとめ」	۲ <u>%</u>				「相互銀行』	全国相互銀行協会	
57 年 11 月 「回答中小企業の資本金規模別構成比を中心としたアン	「回答中小企業の資本金規模別構成比を中心とした	詮業の資本金規模別構成比を中心と した	捡規模別構成比を中心とした	比を中心とした	とした	アイン			
ケート調査結果のまとめ」	ケート調査結果のまとめ」	約果のまとめ」	لام				『相互銀行』	全国相互銀行協会	
58年1月 「キー・カレンシーとしてのドルとピナイン・ネグレク	「キー・カレンシーとしてのドルとビナイ ソ・ネク	ノンツーとしてのドルとピナイ ソ・キク	/てのドルとピナイ ソ・ネク	アナイン・ネク	*	・トン			
ト政策」	1 政策」						「金融」	全国銀行協会連合会	
58 年 5月 「経常収支黒字基調のゆくえ」	「経常収支黒字基調のゆくえ」	は字基調のゆくえ」	かくえ」				[Cab]	経済法令研究会	
58 年 7 月 「回答中小企業のメイン金融機関業態別構成比を中心	「回答中小企業のメイン金融機関業態別構成比を「	トシ業のメイン金融機関業態別構成比を F	/金融機関業態別構成比を 『	線別構成比を「	比を『	ゴウと			
したアンケート調査結果のまとめ」	したアンケート調査結果のまとめ」	ート調査結果のまとめ」	果のまとめ」				『相互銀行』	全国相互銀行協会	
58年 11月 14日 『公的・民間金融のあり方に関する研究会報告』		1・民間金融のあり方に関する研究会報4	のあり方に関する研究会報	関する研究会報	1会報	出りの			
							『金融財政事情』	金融財政事情研究会	
59年1月「国際化と中小企業金融」		中小企業金融」					『地域協同金融研究	農林中央金庫調査部	
							シリーズ』第16集	研究センター	
59 年 5 月 「MMC―その機能と金利自由化に与える影響」		の機能と金利自由化に与える影響」	利自由化に与える影響」	チえる影響」	~7		[Cab]	経済法令研究会	
59年 8 月 「国際貨幣体制のあり方とその最終目標―R. N. ;	「国際貨幣体制のあり方とその最終目標―R. N.					ベーク			
		を中心に一』					『金融』	全国銀行協会連合会	
59年10月1日「円の国際化と地域金融機関の対応」	1日「円の国際化と地域金融機関の対応」	際化と地域金融機関の対応」	金融機関の対応」	对応」			『金融財政事情』	金融財政事情研究会	
59年11月 「国際通貨体制のあり方とその枠組み一E, L. モースの考		本制のあり方とその枠組み―E.L. モー	ちとその枠組み─E.L. モー	みーE.L. モー	ή. 	スの兆	統計研究会編『世界	統計研究会	條原三代平氏

経済法令研究会

ひそむ問題点』

『最近の国際通貨・貿易問題とわが国の対応』(共同研究 『井上委員会調査報 日本経済調査協議 篠原三代平主

Νħ	発表年月	李	施	纒	¥	夲	発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名	和
		え方を中心に一」	7				経済の動態的展開』		他数名	
昭和	昭和59年9月	Problems Concerning the Internationalization of the	ncerning th	ne Internat	ionalization		Review of Currency Legislazione Nationale	Legislazione Nation	nale D:	
		ven and japan's Financial institutions.	an's Finar	ıcıaı institi	rtions,		Law and Interna- E invernationale in- tional Economics, cerche, Milano.	cerche, Milano.		
							Quarterly Review			
"	59年10月	59年10月 「日本の金融機関および円の国際化」	観ねよび尸	日の国際化」			一橋大学経済研究所 一橋大学経済研究所	一插大学経済研究例	开	
							Discussion Paper Series, No. 40.			
*	60年4月	「金融の自由化をめぐる問題点」	7をめぐる 問	引題点」			『金融経済セミナー』経済法令研究会	経済法令研究会		
*	60年5月	「山口茂教授における金融論の学風」	こおける金属	強論の学風」			『橋問叢書・40号』 一橋の学問を考える会	一橋の学問を考える	\$\$ \$\\$	
*	60年8月	「今次『金融自由化とその環境整備』の意味するもの」	自由化とその	り環境整備』	の意味する	& ⊘]	『金融経済セミナー』経済法令研究会	経済法令研究会		
	60年11月	「これからの政策金融の役割と中小企業金融」	枚策金融の8	段割と中小金	業金融」		『中小企業信用保険 中小企業信用保険公庫	中小企業信用保険公	世公	
							公庫月報』			
	61年3月	「国際貨幣体制の変革のパターンとその仕組み一E. L. キ	引の変革の	*ターンとそ	の仕組み一		一橋大学経済研究所 一橋大学経済研究所	一橋大学経済研究則	严	
		- スの所説のまとめを中心に一]	まとめを中	「一いつ			Discussion Paper			
							Series, No. 136.			
*	61年7月	「G-5以後の国際金融・経済環境の変化とそれに対応す	国際金融・権	圣済環境の 3	ざ化とそれに	本語を	吉野昌甫·及能正男·			
		る金融の自由化	仓」				楠本博編集『銀行一			
							環境激変化の対応』 経済法令研究会	経済法令研究会		
*	61年7月	「金融革新と金融政策の関係―BIS『年次報告書』の見	金融政策のほ	阅係─BIS [年次報告書	引の見	『金融自由化と金融 金融調査研究会	金融調查研究会	伊東政吉,	H
		方を中心に一」					政策』		村茂氏等	
	62年4月	「金融自由化の進展と金融慣行」	の進展と金属	帕慣行」			吉野昌甫·及能正男·			
							楠本博編集『金融慣			
							行一自由化の背後に			

62年7月

発表年月	业	卷	纒	×	夲		発表雑誌等の名称	発行機関	共同研究者名
	報告書)					7/-	告,87—1』	∜₩	査の共同研究
昭和62年11月	「セキャル	タイゲーショ	「セキュリタィゼーションと危険負担」	粗〕			『セキュリタィゼー 金融調査研究会	金融調查研究会	館竜一郎・伊
							ションと金融システ		東政吉氏等
						•	۵]		
"62年12月	A Special	Report; R	ecent Tren	ds in In	ıternatic	nal "	A Special Report; Recent Trends in International "A Special Report" 日本経済調査協議	日本経済調査協議	條原三代平主
	Monetary	and Trade	Monetary and Trade Issues and Japanese Responses	Japanese	Respon		by Japan Economic 会	₹I	査の共同研究
	Thereto. (5	Thereto. (共同研究報告書)	+春)			1	Research Institute.		
" 63年1月	「セキュリ	タイゼーショ	「セキュリタィゼーションをめぐる問題点」(討論: 及能	問題点」(討論:		吉野昌南·及能正男·		
	正男,楠本	正男,楠本博氏が共同討論者)	討劉者)			44-	楠本博編集『セキュ		
							リタイゼーションと		
						Q∌ ¥	銀行』	経済法令研究会	
" 63年8・9月「金融の自由化・国際化と中小企業金融	「金融の自	並化・国際 (ヒと中小企業	金融」		حجا	『中小企業金融公庫		
						_	月報』	中小企業金融公庫	
平成1年3月	「シンジケ-	ンし口・一一	「シンジケート・ローンの復調をめぐる問題点」	ぐる問題。	Į,	<u></u>	。金融経済セミナー』経済法令研究会	経済法令研究会	
" 1年8月	「相互銀行	の普通銀行車	「相互銀行の普通銀行転換とその変化の方向」	化の方向」			「かんぽ質金』	簡保資金振興セン	
								I *	
				歷	帮	齱			
発行年月		羅	品	印		袙		訳・共訳等の別	1 発 行 所
昭和36年3月	(黯文) R.	ソレバッツ	「低開発国	こおける通	I商政策] ([7.	(論文) R. ブレビッシ「低開発国における通商政策」(『アメリカーナ』1961年	: 积	好学社
	3月号, 第	3月号, 第7卷, 第5号所収)	号所収)						
" 42年2月	A. G. ハー	l, P.B.	A. G. ハート, P. B. ケネン著『現代金融論』	見代金融論	-			共訳(山下邦男氏)) 日本評論社
•									

為替相場における不均衡」) 随筆・感想文等は省略. 存铝

42年2月 58年7月

日本評論社 勁草書房

P. A. サミュエルソン著『国際経済学―サミュエルソン経済学体系,5』(「戦後